

令和３年度 第１回 横浜市大佛次郎記念館指定管理者選定評価委員会 会議録

- １ 日 時 令和３年８月１９日（木） １０時００分～１２時３０分
- ２ 場 所 横浜市役所１８階みなと６・７会議室
- ３ 出席者 中島 秀男 委員長、富岡 幸一郎 委員、古本 悦子 委員、八ッ橋 治郎 委員、
米本 良子 委員
- ４ 欠席者 無し
- ５ 傍聴者 ４名

６ 議事内容

議題	<ol style="list-style-type: none"> １ 委員長選出 ２ 定足数の確認 ３ 委員会の公開・非公開 ４ 議題１：令和２年度業務評価 ５ 議題２：面接審査 <ol style="list-style-type: none"> (１) 提案者プレゼンテーション (２) 提案者に対するヒアリング ６ 議題３：本審査 <ol style="list-style-type: none"> (１) 応募団体欠格事項等の確認について (２) 審議及び採点
議事・ 委員意見等	<ol style="list-style-type: none"> １ 委員長選出 「横浜市大佛次郎記念館指定管理者選定評価委員会運営要綱」第６条第１項に基づき、委員の互選により中島委員を委員長に選任した。 ２ 定足数の確認 委員数５名のうち５名の出席により定数を充足しており、会議の成立を確認した。 ３ 委員会の公開・非公開について 横浜市の保有する情報の公開に関する条例第３１条及び横浜市大佛次郎記念館指定管理者選定評価委員会運営要綱第９条に基づき、「議題１：令和２年度業務評価」及び「議題２：面接審査」の審議については公開、「議題３：本審査」の審議については非公開とした。 ４ 議題１：令和２年度業務評価 <ol style="list-style-type: none"> (１) 指定管理者による自己評価 指定管理者から、令和２年度の実績及び自己評価についての説明があった。 (２) 行政評価について 評価表に基づき、事務局から行政評価の要点について説明があった。 (３) 委員による評価 委員から指定管理者に対する評価内容の説明及び質問を行った。

《評価内容の説明》

【評価する点】

- ・新型コロナウイルスの影響により制約があるなか、柔軟な対応を行いながら記念館としての文化事業等を展開した点。
- ・YouTubeでの展示解説動画の配信や、SNSの活用による広報、LINEスタンプの販売などICT活用を幅広く進め、積極的に情報発信を実施した点。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、収入確保が難しい状況下において計画以上の協賛金及び寄付金を獲得した点。

【更なる取組を期待する点】

- ・情報発信のツールとしてICTの活用を進める一方で、実物展示の観覧や閲覧に関する管理運営の工夫を行い、記念館だからこそできる大佛文学の普及を図ってほしい。
- ・今後も新型コロナウイルス感染症の影響により臨時休館となる可能性があるため、在宅勤務やリモートワークが可能となる体制や環境づくりについて検討してほしい。

5 議題2：面接審査

提案者による提案書のプレゼンテーションの後、委員による質疑を行った。

＜主な質疑応答＞

(以下「・」：委員、「→」：提案者)

- ・大佛次郎没後50年の調査について、大佛次郎の関係者からの情報の聞き取りや記録はどのように行うのか。
→著作権継承者等の関係者の方に聞き取りを行い、内容を文字に起こし記録を作成している。記録は複数の職員が行い展示等に活用している。
- ・入館料の優待サービスの見直しを提案しているが、サービスを廃止しても収入や利用者へのサービス提供に影響はないか。
→比較的、利用者が少ないサービスの廃止を検討しているため、大きな影響はないと想定している。
- ・没後50年の事業について具体的内容を教えてほしい。
→具体的な事業についてはこれから検討を進める予定である。通常の企画展と異なる他施設との連携事業等を構想している。
- ・新デジタルアーカイブ構築について、特定のクラウドサービスを利用する理由はなにか。
→団体本部で当該サービスの利用実績があることと、利用形態に合わせて施設ごとにカスタマイズできるシステムであることが大きな理由である。
- ・文化的コモンズの形成について、これまで築いてきた関係者との連携を強化しながら貢献するという姿勢に加え、文化的コモンズの捉え方をより幅広い視点に広げ、施設が率先して文化的コモンズ形成を進めるという意識を持つ必要があると考えるが、そのような想定はあるか。
→文化的コモンズの主体になれる可能性について意識し、提案した事業に取り組むことで形づくっていききたい。

	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、収蔵品の収集を進めるにあたり、収蔵庫や書庫のキャパシティは足りているか。 <p>→十分なキャパシティがあるとは言えないが、収納方法の見直し等を行い対応する予定である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和２年度の団体の財務状況について、前年度と比べ正味財産の増減が大幅に減額となっているのはなぜか。 <p>→主にコロナの影響に伴う利用者の減少、大規模施設の改修に伴う休館による影響である。</p> <p>6 議題３：本審査</p> <p>(1) 提案者について、提案者の欠格項目のうち、市税等の滞納がないこと及び暴力団又は暴力団経営支配法人等ではないことが確認された旨を事務局から報告。</p> <p>(2) 提案書類及び面接審査の内容を踏まえ、委員による意見交換、各評価項目の採点を行った。</p> <p>【審査結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提案者：公益財団法人横浜市芸術文化振興財団 <p>総得点849点／1000点（委員５名×持ち点200点）</p> <p>なお選定要項に、指定候補者となるためには、選定評価委員会の定める最低基準点（評価基準項目の合計200点満点の６割以上）を満たすことが必要である旨の記載があり、５名全ての委員の採点がこの基準を満たしていることを併せて確認した。</p>
審議結果	<p>「議題１：令和２年度業務評価」については、本日の委員会で確認した内容を踏まえ、各委員は評価シートを改めて清書し、事務局で調整の上、委員会の最終評価内容としてまとめることとする。</p> <p>「議題３：本審査」については、提案者：公益財団法人横浜市芸術文化振興財団を指定候補者として横浜市長に報告する。</p> <p>なお、審査結果及び講評は、本日の意見を集約し、委員長確認のうえ報告書にまとめる。</p>